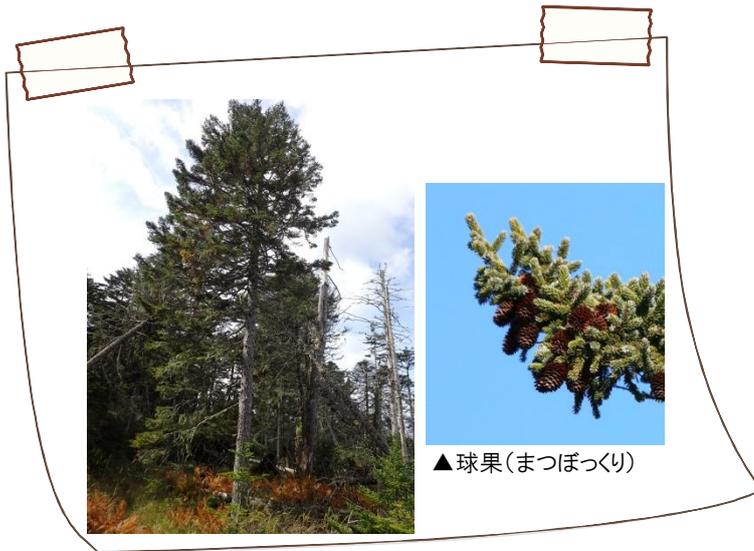




ネイチャーセンターだより

2025年9・10月号

新・いきもの図鑑



▲球果(まつぼっくり)

アカエゾマツ (赤蝦夷松)

名前の通り、樹皮に赤みがある常緑のマツです。春国岱に生える樹々は地衣類がついていることが多いので、樹皮が見えにくいのですが、葉のついている枝を見るとその赤みがわかりやすいと思います。葉は短く0.5～1.2cmくらい、球果(まつぼっくり)は細長く、下を向いてつくのが特徴です。よく似たエゾマツとともに「エゾマツ」の総称で呼ばれることもあります。

アカエゾマツは春国岱と深いかかわりがある樹です。春国岱(しゅんくたいたい)の地名はアイヌ語の「スルク・ニタイ(または、スルクニ・タイ)」からきており、これは「エゾマツの林」を意味します。春国岱のアカエゾマツコースでは、散策路のすぐ脇でアカエゾマツの樹をじっくり観察することができますので、訪れた際はぜひご覧になってみてください。

【参考文献】

佐藤. 2006. 新版 北海道樹木図鑑[増補版]. 亜細亜社.
更科ほか. 2020. コタン生物記 I 樹木・雑草篇 新版. 青土社.

キタキツネコースの後半部分がきれいになりました

NEWS

キタキツネコースはアカエゾマツコースと分岐した先の木道補修工事のため、しばらく迂回路通行をお願いしておりましたが、工事が完了し、7月24日からご利用いただけるようになりました。以前は足首まで埋まるぬかるみが多く通行には長靴が必須でしたが、新しい道はコースが少し変更され、長靴がなくても歩きやすくなっています。

このコースではゴーストフォレスト(立ち枯れの木々)を間近に観察でき、終点では第二浜堤のアカエゾマツの森をご覧いただけます。これからの季節、眼前に広がる湿地にカモ類もやってくるでしょう。新しくなったキタキツネコースをぜひご利用ください。



▲開通したキタキツネコース

見どころMAP

★今年は国内でマダニが媒介する感染症の患者数が過去最多になっています。北海道でも感染者が出ています。また、9月はまだ蚊が多い季節です。散策時は肌を出さない服装、帽子の着用、虫よけスプレーの使用など、対策をしましょう。



- 観察路(ヒバリコース 1.2km、約 25 分)
- 観察路(ハマナスコース 1.4km、約 30 分)
- 観察路(キタキツネコース 0.8km、約 20 分)
- 観察路(アカエゾマツコース 0.5km、約 15 分)
- 観察路(小鳥の小道 1.4km、約 30 分)
- ⋯ 作業路(春国岱上は自転車を含む車両進入禁止)
- 🏠 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

9・10月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる(と思う)
 - ちょっと気をつければ見られる
 - + よく気をつければ見られる
 - ・ めったに見られない

オジロワシ オオワシ	○	オジロワシは樹上や消波ブロック上に止まっているた干潮時には、風蓮湖や根室湾の干潟に降りていたりします。オオワシは例年、10月下旬ごろから見られるようになります。(昨年は11月3日に初確認)
タンチョウ	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで見られます。アオサギの群れに混ざって休息していることもあります。
シギチドリ類	+	9月下旬頃まで干潮時に春国岱湾の干潟や根室湾の干潟で採食する様子が観察できます。過去、9月によく観察されたのは、メダイチドリ、ミヤコドリ、ホウロクシギ、キアシシギ、トウネンなど。
オオハクチョウ	+	昨年は10月17日がシーズン初確認でした。春国岱のほか、東梅ハイド、温根沼大橋周辺、道の駅スワン44ねむろから観察できます。
カモ類	○	9月中旬頃から渡来し、よく見られるようになります。最も数が多いのはヒドリガモとオナガガモ。マガモ、ハシビロガモ、コガモなども少数見られます。10月には根室湾や風蓮湖にクロガモやウミアイサも見られるようになります。
春国岱	野鳥	9月中旬以降、草原や湿原にはタヒバリが見られるようになります。
	花	9月はウラギクなどの花が見られます。木橋やキタキツネコース周辺ではアッケシソウが紅葉し始め、10月中旬ごろまで見られます。
自然 学習林	野鳥	ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)が見られます。
	花	9月にはエゾトリカブト、ゲンノショウコ、ミゾソバ、ナギナタコウジュ、サラシナショウマなどの花が見られます。
	紅葉	ツタウルシ、ヤマブドウ、シウリザクラなどが紅葉し始めます。
危険生物		エゾイラクサ・ツタウルシには、さわらないようにご注意ください。マダニ・カ・ヌカカを防ぐため、虫よけ剤の塗布をおすすめします。

子どもたちからもらった野鳥に関する質問

トピックス

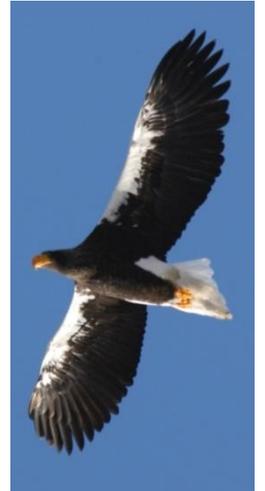
ネイチャーセンターは主に根室内の小中学校の総合学習としてご利用いただいたり、センターのレンジャーが学校に出向いて授業を行ったりしています。その中で、子どもたちから野鳥や自然に関するたくさんの質問をもらいます。その内容は子どもらしいかわいらしい質問から、こちらも頭を悩ます難しい質問、よく観察しているなあと感心するものまで、多岐にわたります。ほんの一部ですが、これまでに質問してもらったものの中からいくつか紹介します。



Q1. 根室で一番大きい鳥・小さい鳥は？

最も聞かれることが多い質問！

鳥の大きさをくらべる時に、いくつか目のつけどころがありますが、全長(くちばしから尾の先までの長さ)と翼開長(両翼を広げた長さ)と体重がよく使われます。全長が一番大きいのはオオハクチョウとタンチョウで約140cmです。翼開長が一番大きいのは、オオワシで、大きいもので2m45cmくらいになります。ちなみに、日本で見られる翼開長が大きい鳥のオオワシに次ぐ上位2位はオオハクチョウ、3位はタンチョウ、4位はオジロワシで、すべて根室で見られます。体重が一番重いのはオオハクチョウで、12kg以上のものがあります。根室で見られる鳥で小さいのは、全長が一番小さいのはクイタダキで、約9cmです。体重が一番軽いのもクイタダキで、軽いもので5g弱です。



Q2. シマエナガは何を食べるの？



こん虫やクモや、それらのたまごをよく食べます。カエデの木からしみだすあまい汁を吸うこともあります。

昨今のシマエナガブームもあり、シマエナガに関する質問は子どもたちからもよくいただくのですが、虫を食べると知ると、「えー」という声がよくあがります…。ただ、虫がいなければ多くの鳥が生きることができないことや、虫を食べる生きものがあることで世界が虫だらけにならないこと、生きものはいろいろなところでつながりあっていることを知ってもらう機会になる質問です。



Q3. ツル(タンチョウ)はなんで多いの？

根室ではタンチョウが多いと思いますよね。でも、タンチョウは北海道内に1,800羽ほどしかいない絶滅危惧種で、根室には多いけれど、北海道全体では見られない場所もあり、まだまだ数が少ない鳥です。根室にはタンチョウが子育てできる湿原がたくさんあるので、北海道の中でもタンチョウがたくさんいる場所の一つになっています。



タンチョウを多いと感じるのは、根室ならではの質問だなと思いました。車でお出かけすると、車窓からタンチョウを見ることが普通にあったり、学校のグラウンドで見たという子もいたりします。生きもの単体ではなく、その生息環境を知ることがきっかけになる質問です。

イベント情報

【申込・問合せ】春国岱ネイチャーセンター
電話：0153-25-3047
E-mail:nemu_nc@marimo.or.jp

メール



◆9/21 春国岱・秋のガイドウォーク

春国岱の観察路(往復約 4km)を歩きながら、アッケシソウの草紅葉やエゾシカ、秋の渡り鳥などを観察します。

◇日時:2025年9月21(日)9:30~12:00

※荒天時は9月28日(日)に順延

◇集合/解散:春国岱ネイチャーセンター/春国岱駐車場

◇対象:自分の足で4km歩ける小学生~おとな(小学生は保護者同伴)

◇定員:先着20名

◇参加費:一人100円

◇服装・持ち物:帽子、歩きやすく汚れてもいい靴または長靴、雨具、手袋、飲み物、筆記用具、虫よけ対策(スプレーなど)、お持ちの方は双眼鏡(貸出しあり、申込時にお知らせください)

◇申込方法:メール、電話または直接。参加者全員の氏名、連絡先、小学生は年齢・学年もお知らせください。

◇申込期限:9月19日(金)17時



◆10/20 春国岱ゆるふわボランティア体験

春国岱ネイチャーセンターの自然学習林では、シカの食害により枯れてしまう樹木が多くあります。樹木を守るため、ボランティアグループ「スंक」のメンバーと樹木に古い漁網を巻く作業を体験してみませんか？



◇日時:2025年10月20日(月)10:00~12:00

※雨天の場合は10月27日(月)に順延

◇集合:春国岱ネイチャーセンター

◇対象:春国岱ネイチャーセンターでのボランティア活動に興味のある18歳以上の方

◇定員:先着10名

◇参加費:無料

◇服装・持ち物:野外で活動できる服装・長靴・帽子・軍手・飲み物・タオル・筆記用具

◇申込方法:メール、電話または直接。参加者全員の氏名、連絡先をお知らせください。

◇申込期限:10月19日(日)16時

募集中!

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回(基本的に第3月曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象:18歳以上

◆年会費(ボランティア保険料含む):1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL:0153-25-3047 FAX:0153-25-8570

Eメール:nemu_nc@marimo.or.jp



HP https://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆開館時間 9:00~17:00(10月は16:30閉館)

◆休館日:9月3・10・16・17・24・25日

10月1・8・14・15・22・29日

◆団体でご利用の方へ (事前予約制・2週間前までにご連絡ください)

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。

SNSでも最新の自然情報を発信しています!



ラムサール条約湿地
風蓮湖・春国岱

2005年11月登録【今年で登録20周年】